

多賀城市からのお知らせ

送付枚数（送り状含む） 2枚

仮設住宅団地内に交流を 「男の料理教室」実施！

平成24年3月23日
多賀城市総務部地域コミュニティ課
広報広聴係
368-1141 内線 255

このことについて下記のとおり実施しますので、報道・取材方よろしくお願ひいたします。

記

- 日 時： 3月24日（土） 16：00～20：00
- 会 場： 勤労青少年ホーム跡地仮設住宅集会所
- 内 容： 別紙のとおり

■このことについての問い合わせは・・・
一般社団法人 復興応援団 橋本
TEL 393-9331

3/23 17:00 FAX済

勤労青少年ホーム跡地仮設住宅「男の料理教室」実施について

一般社団法人 復興応援団

■ 実施の背景

多賀城市内の仮設住宅のひとつ、勤労青少年ホーム跡地仮設住宅（24世帯37名入居）では50～60代の単身男性世帯がおよそ7割を超えている。団地内の交流は殆どなく、一部の住民同士が挨拶を交わす程度である。

各仮設住宅団地で行われているイベントや交流サロンは、平日の日中に開催されることが多く、日中の在宅住民数が少なく、一定数の参加者が見込まれない勤労青少年ホーム跡地仮設住宅で開かれるイベントは月間で数回、参加者数も多くて5人、少ない時には0人という状況にある。すなわち、知り合い、顔なじみになるという自治コミュニティ形成への流れを生み出すような住民同士の交流の機会が極端に少ない。

こうした状況に鑑み、普段在宅しているがイベント等には参加しない、あるいは日程が合わず参加できないといった単身男性でも参加することが可能な日程・時間帯・内容を設定したイベントを開催することが必要だと考えられる。

また、勤労青少年ホーム跡地仮設住宅の住民の多くが多賀城市文化センター避難所での生活を経験しており、少なからず顔見知りであることから、定期的な交流機会を設けることでコミュニティへの発展につながる可能性が十分に考えられる。

■ 実施の目的

- ① 交流機会の少ない団地住民（特に単身男性）同士が簡単な料理を作り、一緒に晩酌することで顔馴染みを作る。
- ② このイベントをきっかけに、今後のイベントや懇親会を住民同士が企画するようなつながりを作る。
- ③ 団地内に交流を生み出すことで、孤立した単身世帯を無くす。

■ 実施概要

日時：2012年3月24日（土）午後4時から8時まで

会場：勤労青少年ホーム跡地仮設住宅集会所

内容：参加者が各自調理用具（包丁・まな板等）を持参。

講師を囲みながらレシピ通りに調理（あくまでも簡単に作れる料理）。

出来上がった料理をつまみに皆で晩酌。

参加費は200円とする。